



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

高校生の地域参画を通じた高校と地域の一体的な再生

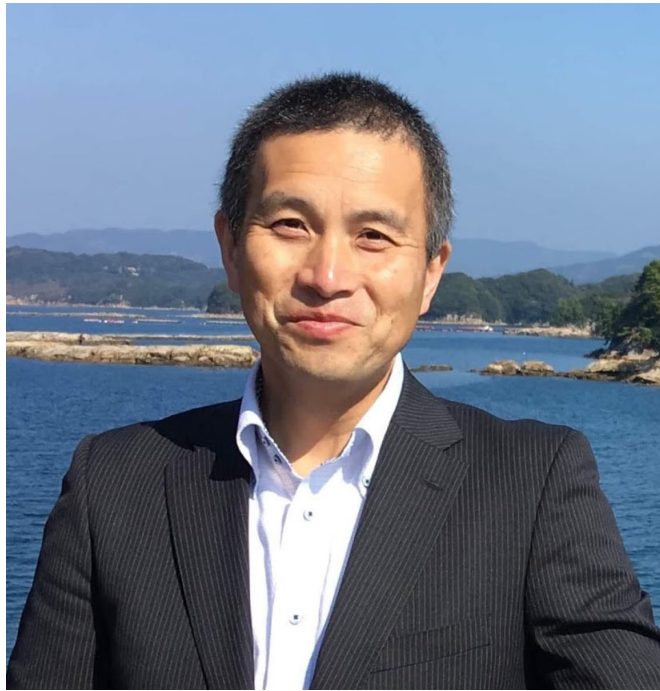
浦崎太郎

(

うらさきたろう

)

大正大学地域構想研究所 教授



○ 登録者情報

所在地

東京都豊島区

略歴

【職歴】

1989年4月～2017年3月 岐阜県立学校教諭(中学校教諭1年・県博物館職員4年を含む)

2017年4月より現職

【役職】

2015年 文部科学省 中央教育審議会 生涯学習分科会 学校地域協働部会 専門委員

2018年5月～ 文部科学省 高等学校教育改革のに関するアドバイザー

2019年1月～ 文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」企画評価会議 座長

2019年9月～ 全国高校生マイプロジェクト実行委員会 顧問

【実績】

2004年 居住地では、市民協働に力を入れる岐阜市に呼応して「岩野田北まちづくり協議会」の設立に参画。勤務先の岐阜県武儀郡洞戸村(現・関市洞戸)では、総合学習を支援するNPO法人(洞戸村ふるさと塾)の設立に参画。

2010年 モデル3地区と県博物館による「岐阜県「地域発！ふるさと学習」研究協議会から文部科学省「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」における実証的共同研究」に応募し採択された研究企画「地域発！ふるさと学習」に対する大人の意識変容要因に関する実証的研究」において企画や運営を担当。

2013年 勤務先の可児高校において、「地域課題解決型キャリア教育」「アクティブラーニング」等を柱とする学校改革事業の実務担当者として企画や運営を担当。

2014年 高校と地域の一体的な再生をめざす全国組織「SCHネットワーク(Super Community High school Network)」の立ち上げに参画。

2019年11月 総務省「過疎問題懇談会」において「過疎地域の小規模高校をどう位置づけるか」について講義

著書・論文等

【単著】

○「教育再生は大人の関係性回復から」博進堂文庫29号(2005年12月)

【共著】

○「アクティブラーニング実践Ⅱ ～アクティブラーニングとカリキュラム・マネジメントがよくわかる」(共著)産業能率大学出版部(2016年9月)・・・第2章で「高校と地域の連携・協働」について詳述。

【連載】

○大正大学出版会 月刊誌『地域人』の連載「高校連携で始まる人材循環」を担当(2017年9月～)

【主な論文】

○(財)2001年日本委員会の懸賞論文「21世紀の教育を考える」で優秀賞受賞・タイトル「日本再生は確かな技法に基づく小学校区の絆づくりから」(2004.2)

○浦崎太郎(2013)「地域医療と教育学：地域素材と教職的技法の融合が開く未来(特集地域医療への学際的接近)」、『月刊地域医学』27(10),pp.880-883,地域医療振興協会。

○浦崎太郎(2011)文化振興の担い手育成に関する実証的研究 ～1.アウトリーチ事業の立ち上げ～,岐阜県博物館調査研究報告,32,岐阜県博物館

○浦崎太郎,「地域を日常的な学びの場に変える「学びのデザイナー」育成事業」第17回研究発表大会資料,仙台市,2010-02-25/26,全国科学博物館協議会,2010,pp.47-52. http://jcs.jp/wp-content/uploads/presentation/case17_5.pdf,(参照2020-01-01)

○ 高校生の地域参画を通じた高校と地域の一体的な再生

取組の内容

高校教員時代には、「地元自治体や地域諸団体により提供される、まちをよくしていこうと頑張る大人や大学生が活動する場」に高校から生徒を送り込み、どんな地域課題があるのかを一緒に学び、どう解決していけばよいのかを一緒に探る体験をさせる仕組みを構築。大学教員となつてからは、その必然性や必要性について高校教育改革や地方創生と理論的にも有機化しながら、全国各地の高校や自治体等に導入支援。また、支援先の協力を得て、自身が構築した理論を検証し、さらに精緻化。その成果を文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」や総務省「過疎問題懇談会」において提言・反映。近年は特に、高校生の多様な興味関心と地域の課題・素材・人材等を効果的にマッチングする「地域・学校魅力化コンソーシアム」の設立支援に力を入れている。

実績

支援先の受賞・表彰実績(2017～19年度:一部重複)

- ・ふるさとづくり大賞(総務省)・・・1件
- ・キャリア教育に関する文部科学大臣表彰(文科省)・・・2件
- ・文部科学大臣優秀教職員組織表彰(文科省)・・・1件(地域連携で)
- ・「学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰(文科省)・・・1件
- ・キャリア教育推進連携表彰(経産省・文科省)・・・1件

工夫した点や苦労した点

高校の設置者は主に県、高校生が活動する場を提供するのは主に市町村、という壁を超えるのが鍵です。制度的に、高校とは教育課程（授業）の執行機関であり、県が権限を行使できるのは「校内・授業時間内」のみ、「校外・授業時間外」は県の管轄外である点に理解が及べば、市町村が地域創生の担い手として、域内に所在する高校の生徒を活用できる道が見えてきます。固定観念を持っている行政職員等に、その点をキチンと伝えることに苦心しています。

ひとことPR

高校との意思疎通ができていない自治体では、高校生が伸び伸びと挑戦でき、愛郷心や課題発見・解決能力の高い次世代が群出しています。できていないと、次世代の流出は激しくなるばかり。人づくりのリアルや投資効果に関する理解を深め、子供や若者を真ん中に置き、自己変革を遂げる覚悟を決めた自治体を支援したいと思います。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化	○	8	若者自立支援
○	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

大正大学地域構想研究所	https://chikouken.jp/
taro4031(個人サイト)	https://taro4031.jimdofree.com/

連絡先

メールアドレス		その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。